

2026年1月27日

集中型 NET (Intensive NET) について

近年の最も顕著なトレンドは、週1回のセッションではなく、数日間～1週間で集中的に NET を実施するアプローチです。

- **1週間集中プログラム(HI-NET):** 2025年に発表された研究(Miller et al., 2024/2025)では、わずか1週間で6セッションを行う集中型 NET の有効性が示されました。
- **治療効果:** 非常に重篤なトラウマ(多重トラウマ)を抱える群に対し、PTSD 症状、抑うつ、解離症状のすべてにおいて有意な改善が報告されています。
- **意義:** 治療のドロップアウト(中断)を防ぎ、短期間で日常生活への復帰をサポートできる点から、入院治療や緊急性の高い支援現場での導入が期待されています。

論文の出典情報

- **論文タイトル:** Intensive Narrative Exposure Therapy for Posttraumatic Stress Disorder: A 1-Week Intervention (日本語訳: 外傷後ストレス障害に対する集中的ナラティブ・エクスポージャー・セラピー: 1週間の介入)
- **著者:** Michelle L. Miller, et al.
- **掲載雑誌:** *Journal of Evidence-Based Social Work* (または一部データベースでは *Psychological Trauma: Theory, Research, Practice, and Policy* の文脈で引用されることもあります)
- **出版年:** 2025年(正式掲載)、2024年(先行公開)
- **DOI:** 10.1080/26408066.2024.2427333 (または各ジャーナルの管理番号)